

# 亀岡市 水と緑の基本計画 [概要版]

## 本計画の特色

### 緑分野だけでなく多分野にわたるまちづくり全体を考える計画

水と緑は**歴史や文化**を育て、**子どもの遊び場**や**植物生育の場**となります。農地は**食糧生産**や**食育**の場に、河川は**治水利水**の場になります。

そしてそれらは、**観光**や**教育**の場にもなるなど、「水と緑」はまちづくりの様々な分野で多様な機能を発揮するため、幅広い視点から「水と緑」を捉えました。

そのため、本市におけるまちづくりの課題をふまえて水と緑のあり方を右図の6つの視点に基づき、本計画に位置付けました。

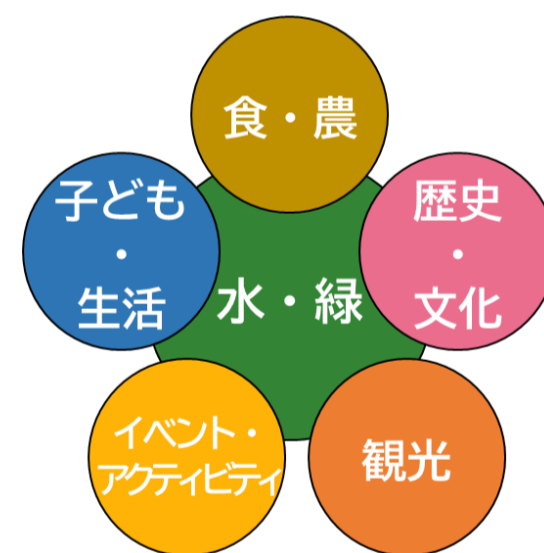


図 亀岡市のまちづくりを検討するうえで重要と考える視点

### 市民に携えていただきたい計画

「亀岡ライフスタイル」を実現するためには、**市民が主体**となって活動し、それが**市内全域・市民全体に広がる**ことが重要です。

そのためには、**活動が多彩で楽しく**、**活動の幅が広がり**、**市内外に新たなネットワーク**が生まれることが重要です。

本計画は、このような**活動のネットワーク**づくりのきっかけとなるよう、また、**市民が片手に本計画を携えて**、**活動のアイデア**を楽しくイメージしたり話し合ったりできるよう、**市民や事業者とのわかりやすい計画**としました。

## 亀岡市水と緑の基本計画とは

「亀岡市水と緑の基本計画」は、都市緑地法第4条に規定される「緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画」です。本市における水や緑の保全・創出・活用に関する具体的な指針として、目指すべき方向性や施策をとりまとめました。

## 基本理念

**京都丹波・亀岡の水と緑の魅力をみんなで見つけ、輝かせ、ふれあいを通じて幸せが広がる亀岡ライフスタイル**

「亀岡ライフスタイル」とは、本市の多様で豊富な水や緑を中心とした資源を慈しみ、楽しむライフスタイルを指します。

亀岡盆地を取り囲む里山や、盆地を流れる河川、広大な農地などがつくる日本の原風景の中での暮らしにおいて、水と緑の魅力を見つけ、さらに輝かせていくことで、**市民一人一人の水と緑とのふれあい**、そして、**市民同士のふれあい**が豊かになり、**幸せが広がる** — そのようにして「亀岡ライフスタイル」をより魅力あふれるものとしていくという考え方を、本計画の基本理念としました。

## 基本方針

亀岡市のまちづくりを検討するうえで重要と考える6つの視点と、本市の地域特性を踏まえ、以下の基本方針を定めました。

### 基本方針1 公園と水辺

身近な**公園**などの魅力を高めて日常的に市民が集い楽しむ場とするとともに、流域の治水安全度の向上に寄与しつつ、アクセス性の高い水辺を計画的に整備することで、**水辺**での楽しみがすぐそばにあるライフスタイルを実現します。

### 基本方針2 農

多くの社寺や歴史あるまちなみが山並み、農地、ため池と一体となった風景を引き継ぎ、京都丹波・亀岡産農産物の生産拠点とすることを通じて、**農**ある暮らし、美しい風景のあるライフスタイルを実現します。

### 基本方針3 レクリエーションや学び

森林、農地、歴史的資源、温泉、ハイキングコースなどを活かし、自然の中での多様な**レクリエーション**や**学び**を楽しむライフスタイルを実現します。

### 基本方針4 にぎわい

京都丹波・亀岡の原風景の魅力をアピールできる拠点をつくり出すとともに、京都府立京都スタジアム、保津川下りなどの様々なコンテンツを集積させ、市民と来訪者を惹きつける様々なアクティビティやイベントを行うことのできる亀岡の**にぎわい**の拠点としての魅力を高めていきます。

### 基本方針5 地区間交流

にぎわいのある拠点、水辺のアクティビティ、美しい風景・農とのふれあい、自然の中での多様なレクリエーションや学びなど市内をめぐる**地区間交流**を楽しむライフスタイル、観光スタイルを促進します。

### 基本方針6 広域

**広域的**な視点から南丹市や京丹波町の風景とあわせて、京都丹波の原風景としての一体的な魅力を向上させるとともに、京都市方面からの京都丹波の入口としての魅力を向上させます。

## 緑化重点地区

行政による公園緑地整備や、市民や事業者の取組の支援を推進するため、市街化区域を緑化重点地区とします。



図 緑化重点地区

## 関連計画

本計画は第5次亀岡市総合計画に即すほか、以下の関連計画と適合、調和するものです。また、亀岡まるごとガーデン・ミュージアム構想の考え方に基づきます。

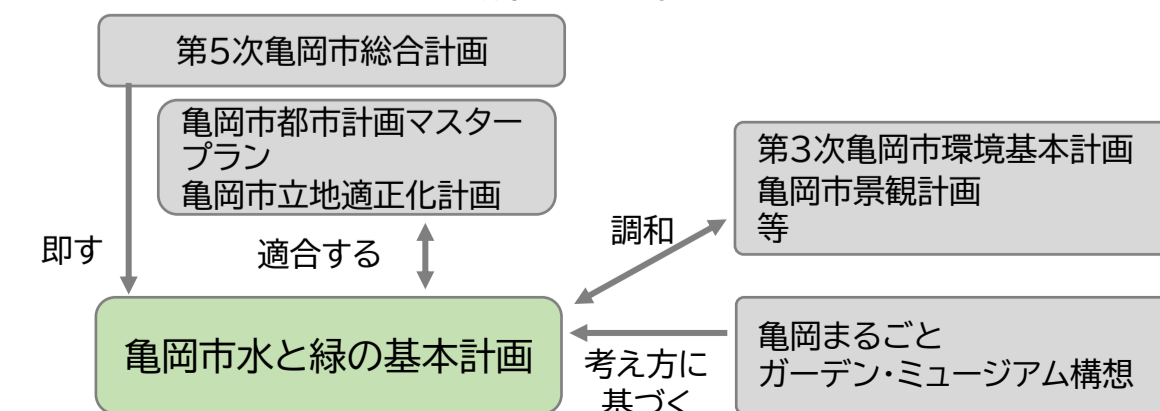


図 計画の位置づけ

# 基本方針ごとの取組

## 基本方針1 公園と水辺

- 01. 公園の整備・利活用・管理運営
- 02. 河川敷や河川の隣接地を活かした親水空間やふれあい空間の形成
- 03. 貯留・浸透を担うオープンスペースの確保
- 04. 保水力の向上をねらいとした広葉樹林や針広混交林への転換
- 05. 流域治水のまちづくりの推進



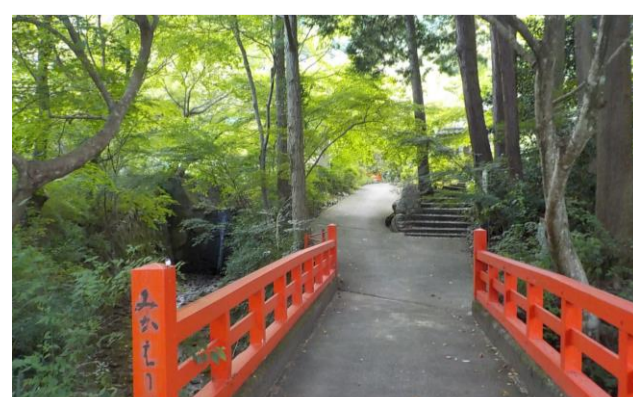
## 基本方針2 農

- 06. 有機農業の推進
- 07. 就農支援や農業の担い手の育成
- 08. 農業体験の推進と農を感じることができる環境の創出
- 09. オーガニック給食の拡大
- 10. 鳥獣被害の抑制



## 基本方針3 レクリエーションや学び

- 11. 自然を体験する機会の創出
- 12. 亀岡型自然保育の充実
- 13. 森のステーションかめおかの活用や自然を学ぶ新たな拠点の整備
- 14. 歴史的な森や樹木の保全や維持管理
- 15. 亀岡の歴史を学ぶことのできる公園や史跡の活用・整備
- 16. 京都サンガF.C.との交流の促進
- 17. 事業者が行う緑づくりへの協力



## 基本方針4 にぎわい

- 18. 京都・亀岡保津川公園を『オーガニックビレッジパーク』として整備
- 19. 京都府立京都スタジアムの活用とスタジアム来訪者の市内への誘導



## 基本方針5 地区間交流

- 20. 拠点をつなぐ歩行空間の質の向上
- 21. トレイルやハイキングコースの活用・整備・維持管理や観光拠点のPR
- 22. 亀岡の風景巡りの推進
- 23. ウェルカムガーデンの整備
- 24. 緑と花にふれあうイベントの開催
- 25. 市民主体の魅力発信イベントの開催
- 26. 市民・事業者によるプログラムを推進する支援制度の構築



## 基本方針6 広域

- 27. 広域ガーデンツーリズムのPR
- 28. 広域の一体的な魅力を愉しめるプログラムの開発
- 29. 広域観光ルートの観光資源の保全・整備
- 30. 広域の魅力をPR・活用するための自治体間の連携の推進



# リーディングプロジェクト

## 全国都市緑化フェア in 京都丹波

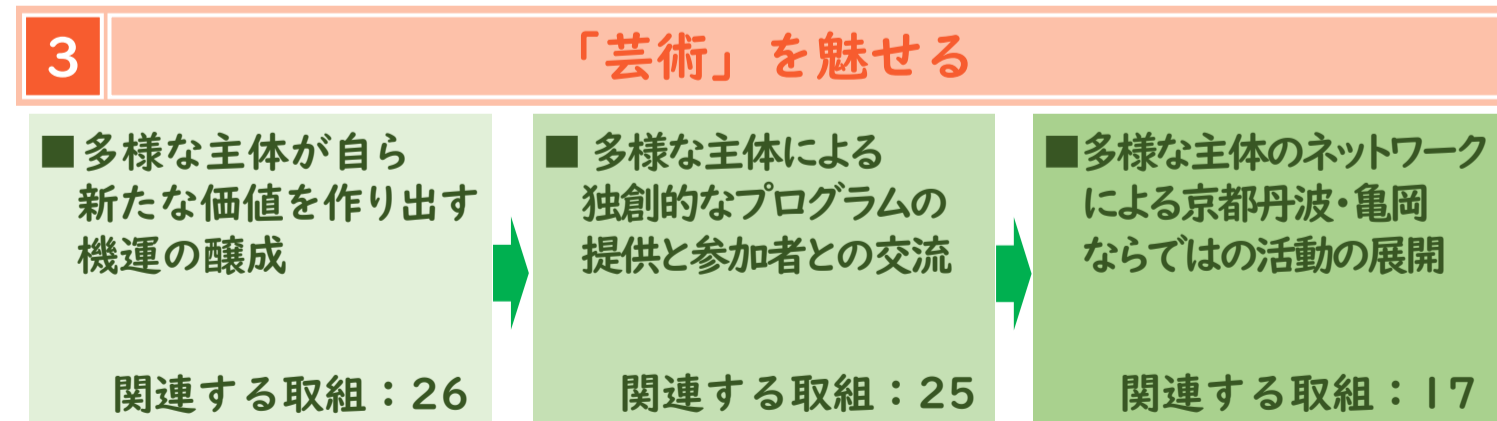
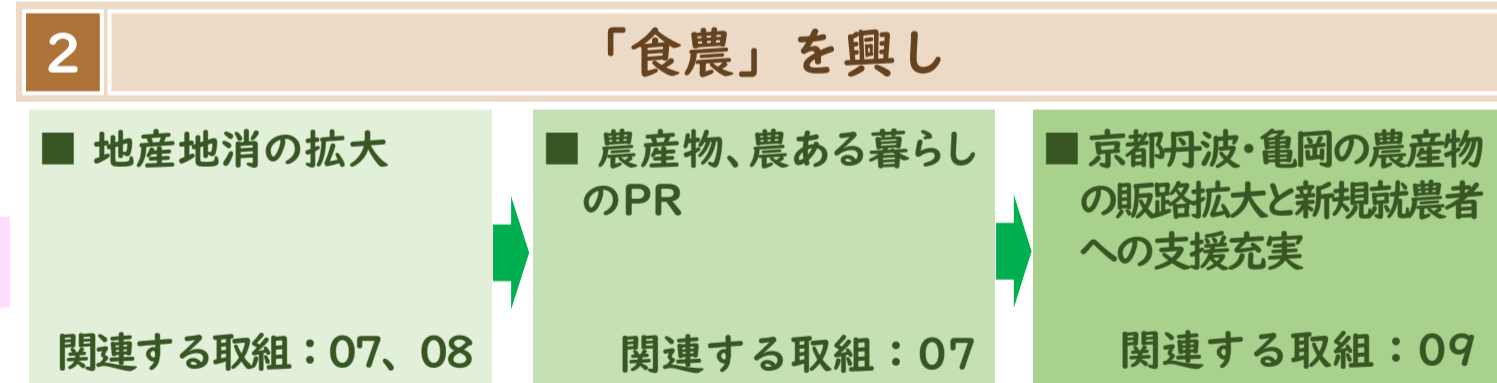
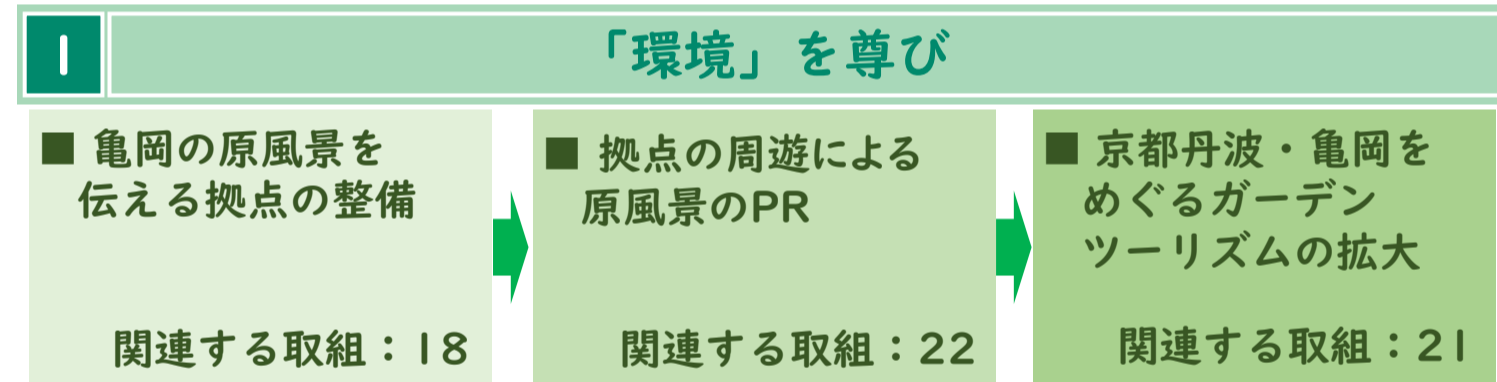
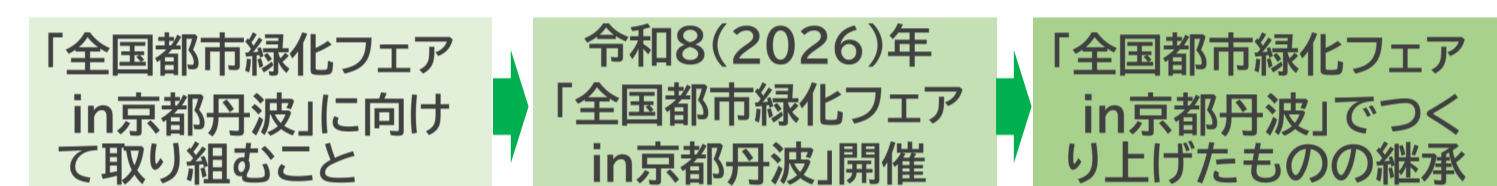
本計画のリーディングプロジェクトとして、本市を含む京都丹波地域に全国から人が訪れる令和8(2026)年の「全国都市緑化フェアin京都丹波」の開催を設定します。

特に基本方針6の取組のうち、「全国都市緑化フェアin京都丹波」の開催に関連する以下の内容をリーディングプロジェクトの中心的取組とします。

- 27-1. 「全国都市緑化フェアin京都丹波」のPR
- 28-1. 「全国都市緑化フェアin京都丹波」の会場等を周遊するプログラムの開発
- 29-1. 「全国都市緑化フェアin京都丹波」の会場の整備
- 30-1. 「全国都市緑化フェアin京都丹波」の開催に向けた連携の推進

なお、基本方針1～5の取組のうち、リーディングプロジェクトに特に関連する取組は以下の通りです。

1～3の全国都市緑化フェアの開催意義ごとに、また同フェアの開催前、開催時、開催後の時期ごとに関連する取組を示しています。



発行 亀岡市水と緑の基本計画【概要版】  
令和6年3月  
亀岡市 まちづくり推進部 都市計画課  
〒621-8501 京都府亀岡市安町野々神8番地  
TEL(0771)22-3131(大代表)  
<https://www.city.kameoka.kyoto.jp>